

創業 120 周年ロゴマークを制定 創業の地、綾部の歴史的建築物を整備

Gunze株式会社(本社:大阪市北区、社長:児玉 和)は、2016年に創業120周年を迎えます。これを機に、ステークホルダーの皆さまに120年の感謝の思いを伝えるロゴマークを制定しました。また、「創業から120年の歴史を見つめてきた綾部」に特化して、綾部にある歴史的な建築物の整備を行い、創業地・綾部への地域貢献を強化します。

Gunzeは1896年(明治29年)、京都府何鹿郡(いかるがぐん・現在の綾部市)で、蚕糸業振興と地域貢献を目的に、何鹿「郡」の「是」(方針・進むべき道)を社名に「郡是製絲株式会社」として設立されました。

人間尊重、優良品の生産、共存共栄の創業の精神を経糸(たていと)に、事業戦略や事業内容、商品・サービスなどの緯糸(よこいと)は時代の変化に合わせて進化させ、現在ではインナーウェア、レッグウェア、ハウスカジュアルウェア、繊維資材などの「アパレル事業」、プラスチックフィルム、エンジニアリングプラスチック、電子部品、医療材料などの「機能ソリューション事業」、ショッピングセンターやスポーツクラブの運営などの「ライフクリエイティブ事業」の3つを事業の柱にしています。これらの製品、サービスを通してお客様に“こちよさ”をお届けし、クオリティ オブ ライフ(QOL・生活の質)の向上に貢献する企業を目指しています。

■120周年記念ロゴマークの制定



今回制定したロゴは、伝統と実績に裏づけされた「信頼」と「未来志向」をイメージして制定された「GUNZE」ロゴに、120年にわたり挑戦を続けてきた証の“情熱の紅いリボン”をあしらいました。また、次の世代へ着実にバトンを繋いでいこうという強い思いを込め、「つなごう、未来へ」というメッセージを加えています。

■創業地・綾部の整備の概要

2014年5月に敷地内に「あやべ特産館」、「綾部バラ園」、「グンゼ博物苑」の3施設で構成される綾部市観光拠点「あやべグンゼスクエア」がオープンし、2014年度には目標の2倍以上11万人超の来館者が訪れるなど、観光地としての綾部の魅力アップに貢献しています。また、スクエア周辺のいわゆる「グンゼ通り」は京都府の景観資産の登録を受けていることから、通りに面した歴史的建築物等を再整備し、グンゼの創業の精神や魅力を体験できる場を提供します。歴史を継承するとともに綾部の魅力を向上し、地域社会に貢献します。

1. 「歴史資料館」の新設

歴史的建築物に指定されている建物(大正末頃建築)を内装改装し、社内で分散保管されていた蚕糸道具、書籍、写真などの歴史的資料を集約した「歴史資料館」を新設します。研究者などを対象にした研究学習のための施設とします。

・2016年春開館予定

「歴史資料館」



2. 創業者宅を保存・移設する「道光庵」の新設

敷地内にある創業者・波多野鶴吉の社長社宅「道光館」(明治44年建築、以降増改築)の一部を、観光交流拠点「あやべグンゼスクエア」内に新設する「道光庵」にて保存し、スクエアの施設として活用します。和風庭園も造営し、休憩室などとして市民の皆さまに利用していただけます。

・2016年春開館予定

創業者宅 旧「道光館」



3. 「グンゼ博物苑」展示蔵のリニューアル

「グンゼ博物苑」は1996年に創業100周年を記念してオープンし、定期的に展示内容の見直しを行ってきました。120周年を機に、3つの展示蔵を「創業蔵」「現代蔵」「未来蔵」に再構成し、創業の精神やグンゼの人づくりについての展示を追加するなど展示内容をリニューアルします。

- ・「創業蔵」 2016年春リニューアル公開予定
- ・「現代蔵」「未来蔵」 2016年秋リニューアル公開予定

グンゼ博物苑「創業蔵」展示イメージ



4. 「南ヶ丘公園」の整備

グンゼ創業者・波多野鶴吉の記念碑などがある「南ヶ丘公園」を整備し、地域の皆さまにとっても快適な空間となるよう整備・充実します。

・2016年春整備完了予定

■その他

- ・120周年記念商品 これまで培った技術を集大成したアパレル製品を「120周年記念商品」として2016年春から順次発売します。
- ・120周年記念イベント 2016年秋に京都府綾部市で、広く市民の皆さまにも参加していただけるイベントを開催する予定です。
- ・120周年記念誌 記念誌はムック本として一般書店で販売される予定です。

以上

本件に関するお問合せ先

報道関係の方からのお問合せ 広報IR室 (大阪) TEL:06-6348-1314 (担当/小倉・仲谷・渡辺)
(東京) TEL:03-3276-8676 (担当/前川)

■GUNZEホームページ <http://www.gunze.co.jp/>